

ふくおか

一般社団法人 福岡県学校歯科医会

県学歯

2021.1 No.94



関門橋

Contents

○巻 頭 言	杉原 瑛治	1
○学校歯科医研修制度「基礎研修・更新研修」開催	平瀬 久義	2
○令和2年度 福岡県若年教員研修（養護教諭）報告	松田 宏一	3
○令和2年度 第7回福岡県よい歯の学校表彰		4
○歯 鏡	永江 正廣	4
○特集「GO!! 学校へ行こう〈特別編〉」コロナ禍における学校歯科健診		
報 告①	加塩 大輔	5
報 告②	入江 祐彰	6
報 告③	岩永 典人	7
報 告④	安田 誠	7
○新型コロナウイルス感染防止と学校歯科健康診断	白木 博繁	8
○令和元年度福岡県学校歯科保健研究大会での展示コーナーインタビュー		9
○令和2年度「歯・口の健康に関する図画・ポスター・標語コンクール」		10～16
○郡市区だより		
田 川	菅 義浩	17
飯 塚	後藤 英伸	18
粕 屋	高橋 眞一	19
糸 島	石井 香	20
小郡三井	金澤 憲孝	21
浮 羽	樋口 太郎	22
久 留 米	古賀 浩明	23
大川三瀧	石川 毅彦	24
門 司	加塩 大輔	25
遠賀中間	森 敏夫	26
○表 彰		27
○会務報告		28
○学校での給食後の歯みがきについて		28
○物故会員、公告、予告、編集後記		29

表紙の写真：関門橋、裏表紙：門司港駅

福岡県学校歯科医会 広報委員会 副委員長 加塩 大輔 氏（門 司）

新しい年を迎えて

会 長 杉 原 瑛 治



新年あけましておめでとうございます。昨年はコロナ禍での生活、歯科医業も非常に難しい対応を強いられた先生方も多々いらしたと推察します。今年は良い年であるようにと念じています。

私たちの臓器や組織は約60兆個もの細胞から構成されていますが、機能を持たない細胞は通常淘汰され、逆に排除されずに増殖すると正常な細胞の機能を阻害すると言われています。

がん細胞は、その人の生命維持に邪魔な存在です。がん細胞が何故できるか、それは基本的には遺伝子の異常と考えられ、異常な遺伝子を持った細胞が分裂増殖して腫瘍になります。がん細胞は誰にでも出来る可能性があります。身体が健康な状態であれば、正常な免疫細胞が、がん細胞を排除するのでがんには罹患することはありません。ウイルスに感染してもDNAに傷がつかないような状態であればがんにはかかりません。もしDNAが傷ついたなら、その細胞が早く排除されるように、免疫力を上げればいいのです。

予め整然と臓器に組み込まれた細胞の表面には、常にアンテナが出ており、免疫細胞が異常細胞を認識し排除して、そこに新たな細胞が入れ替わります。免疫細胞のアンテナの性能が低いと、免疫細胞は異常細胞だと認識できずに増殖を許してしまうことになります。つまり生体の免疫力を高めておけば、異常細胞を察知するアンテナも鋭くなり、排除する力も強くなるということです。

体調を良くするということは、免疫力を上げて認識能力を高める側面もあるということなのです。基礎疾患のある人はコロナが重症化しやすいと言われていますが、先生方も普段から免疫力のつく食材を努力して摂取してください。やはり体力あつての学校歯科医ですので子供たちに言うように、自分の健康は自分で守りましょう。

県学校歯科医会では、昨年はコロナの影響で事業計画通りには行えていません。今年は計画通りに進めるように努力します。また情報を速く正確にをモットーに広報委員会の先生方に頑張ってください。またホームページの見直しをしてもっと見やすい、もっと解りやすい、最も新鮮な情報システムにできるように刷新します。

学校歯科医である先生方のためのホームページにするために考えてみます。ご意見を頂きたいと思います。よろしく願いいたします。コロナの話ばかりになりましたが、これをもちまして新年の挨拶とします。

日本学校歯科医会主催 学校歯科医研修制度「基礎研修・更新研修」開催

副会長 平 瀬 久 義

令和2年9月13日（日）、日本学校歯科医会主催の学校歯科医研修制度「基礎研修・更新研修」が全国1,126名の学校歯科医が参加のもとweb配信形式で開催されました。

受講者には、予め研修資料が送信され講師は「TKP市ヶ谷カンファレンスセンター」にて、講演模様をライブ中継にて全国の学校歯科医の先生方へ斉配信されました。

10：00より竹内常務理事の開会の辞の後、川本強会長の挨拶があり、基礎研修を以下の通り開催しました。その後、13：15長沼善美専務理事の閉会の辞により終了しました。

基礎研修中の講義

講義Ⅰ「学校歯科保健の概念」

齋藤 秀子（日本学校歯科医会 副会長）

講義Ⅱ「学校歯科保健における保健教育」

安井 利一（明海大学 学長）

講義Ⅲ「学校歯科保健における保健管理」

平瀬 久義（日本学校歯科医会 理事）

講義Ⅳ「学校歯科保健における組織活動」

柘植 紳平（日本学校歯科医会 副会長）

更新研修は、14：50より齋藤秀子副会長の開会の辞にて始まり、川本強会長の挨拶の後、以下の通り行い、16：40に柘植副会長の閉会の辞により終了しました。

更新研修中の講義

講義Ⅰ「教育関連法規の理解と改定のポイントについて」

安井 利一（明海大学 学長）

講義Ⅱ「生きる力をはぐくむ歯・口の健康づくりの改訂点について」

安井 利一（明海大学 学長）

今回、基礎研修「学校歯科保健における保健管理」を担当させていただきましたが、web配信形式で実施するという初めての試みで、通常の講習会とは勝手が違う雰囲気の中、最初はなかなか慣れませんでした。どうにか無事終えることができました。

日本学校歯科医会主催の本研修は、各加盟団体で行う基礎研修、更新研修の基本となっており、実施にあたっては、講師の先生方や指導的立場の先生方にこの研修を参考にさせていただくことを希望しています。少しでも全国の学校歯科医の先生方のお役に立てればと願っております。



日学歯 川本 強 会長



県学歯 平瀬久義 副会長

（日本学校歯科医会より写真提供）

令和2年度 福岡県若年教員研修(養護教諭)報告

常務理事 松 田 宏 一

福岡県教育委員会では、若年教員研修として、職務に関する基礎的・基本的な資質と能力を形成することを目的に、毎年校外研修を開催しています。対象は教職経験1年目の養護教諭です。

新型コロナウイルス感染予防体制施行中の状況下で開催が危ぶまれましたが、危惧していたのは私だけだった様で、何の心配もなく第5回目として、10月23日（金）にアクション福岡（県立スポーツ科学情報センター）で開催されました。

午前は、体育研究所指導主事の内田郁美先生による、保健教育の考え方や進め方と、田川保健福祉事務所保健監の中村泰久先生による、学校における感染症対策についての講義が行われました。

午後から私が講師を務める講義のタイトルは、例年どおり「学校歯科保健の実践」でしたので、一通りの学校歯科保健の講義と共に、スクリーニングとしての学校健診の意義、学校歯科医とのかかりつけ歯科医について、健診データの集計と統計



調査への協力をお願いに関して、県学校歯科医会のホームページを利用して頂きたいこと、外傷への対応法、そして学校保健委員会の開催と活用について内容を補充して講演を行いました。

私の講演の後、一般社団法人福岡県歯科衛生士会の伊豫雅子講師による、学校現場での歯みがき指導の実際の講演と、学年に応じた、数々の手作り媒体の展示紹介がありました。32名の県内の各小中高等学校と特別支援学校の若き養護教諭達は、とても熱心に聴講していただき時間の経過がとても早く感じました。



令和2年度 第7回福岡県よい歯の学校表彰

選出基準

「よい歯の学校表彰」選出につきましては、以下の2つの事項を念頭に決定しました。

- ①前年度の「歯・口の健康診断結果統計調査」に基づき、DMF T0.5以下でカリエスフリー率が高い学校。
- ②学校規模（小規模校、中規模校、大規模校）を考慮。

選出につきましては、数値的に非常に近接した学校が多数あり難航いたしました。2つの事項を考慮して慎重に選出いたしました。

第7回福岡県よい歯の学校表彰

表彰校			学校歯科医表彰		
田 川	田川市立弓削田中学校	学校歯科医	水城	治子	
飯 塚	飯塚市立八木山小学校	学校歯科医	林田	雅弘	
筑 紫	大野城市立大野東小学校	学校歯科医	阿南	啓之	
朝 倉	朝倉市立十文字中学校	学校歯科医	豊原	賢一	
大牟田	大牟田市立中友小学校	学校歯科医	衛藤	重信	

歯

鏡

HR時間のランニング

学校歯科医をやってきて「むし歯をなくす努力」「噛むことが体に良い」「COやGOはハミガキで治る」「癖や生活習慣がアゴの発達に関係する」などを子供たちに説いて、学校の先生とも友好関係を築いてきました。校長先生や養護の先生と食事会もしました。学校歯科医の本領は、子供たちが「学びを通して」理解するよう創意する活動にあります。「歯の健康は全身の健康と連動しているんだ」という科学の説明をいかに工夫するかにあります。

ただ、「歯科」を出発点とするとこじつけ感が残るので、「全身の健康」を目標として歯科分野にもつながる対策が自然じゃないでしょうか。

温めている企画ですが、「健康的な子供の育成のために、朝のHR時間でランニ

ングの習慣化」の提案です。朝のかけっこ、ランニングにより心身の発達とあごの発達で、より正しい姿勢が確立されて酸素を取り入れ、活気に満ちて先生の話聞けるようになり、習慣化すれば理解も早く心も安定した健康的な子供、もちろん発達した口腔組織も育成できるのではと考えます。

さらに、給食をよく噛んで食べる食育も含めて、「ランニングの習慣」を学校の中に浸透させるために、行政と相談して幼稚園・保育園での実施や小学校での推進というような形からできないかと考えます。私たちが、「ランニングの推進と効果の学術的な資料、EBMの作成」や「キャッチフレーズの作成」をまとめて国民運動とすれば道が開けると考えています。

監事 永江 正廣

特 集 「GO!! 学校へ行こう〈特別編〉」

コロナ禍における学校歯科健診

報 告①

〈門 司〉加 塩 大 輔

令和2年は、1月に中国武漢にて発生した「新型コロナウイルス」によって、昨年までの日常が大きく変化しました。

日本でも1月中旬に感染者（中国籍の男性）が報告され、2月には、横浜港へのクルーズ船の入港と続き、3月2日からは全ての小・中・高校が臨時休校となりました。

その後、東京オリンピック・パラリンピックの延期、著名人のコロナウイルス肺炎での死去などが続き、4月16日には全国に「緊急事態宣言」が発表されました。その後、5月31日まで延期される事となりました。

その為、福岡県内の小・中・高校は1学期の大半が休校となり、昨年までの歯科健診のスケジュールは大幅に変更となりました。

更に、令和2年度の歯科健診は、未知の感染症への対策のため今までの健診マニュアルとは違う新しいマニュアルが必要となりました。

その為、北九州市では、

- ・3密の状態が起こらない為に、屋内の換気



に努め2方向の窓を同時に開ける、児童の待機位置（1m程度空ける）にテープ等で目印をつける、一度に入室する児童数を制限する。

- ・児童、先生の手洗い、マスクの着用、手指のアルコール消毒、歯科医もマスク、グローブの使用、場合によってはフェイスガードの使用も検討する。
- ・健診を行う部屋での私語の禁止。
- ・健診中は随時アルコール消毒出来るようにしておく。
- ・口腔内に手指を挿入しないように徹底するが、もし頬粘膜などに接触した場合はグローブの変更を行う。

以上のような事への配慮をお願いしました。

また例年よりも健診時間がかかることが予想されたため、学校側との事前打ち合わせもお願いしました。

学校側の協力も素晴らしく、混乱なく健診は行われました。

報 告②

〈宗 像〉入 江 祐 彰

今年度の歯科健診は、コロナ禍の影響で昨年9月末に行われました。

健診場所はいつもの保健室よりも広い家庭科室で、換気を十分に行い、適度なディスタンスを取りながら行われました。

僕の方も事前に養護教諭と電話で打ち合わせや確認を行い、当日は慣れないフェイスシールドを着用して健診に臨みました。



今年度は児童の本人確認を、口頭ではなく名札で確認するようにし、児童が並んで待機している間も会話を控えていたため、例年に比べて静かな健診となりましたが、マスクとフェイスシールドの併用で、健診の記録係には少し健診者の声がこもって聞き取りにくかったようです。

フェイスシールドを着用することによって個人的に心配していた、息苦しさや視界不良の恐れは想像していた程はありませんでしたが、中には透明度の低いフェイスシールドもありますので注意が必要です。

今年は例年以上に健診時に児童に触らないように心掛けていたのですが、なかなか難し



く、止むを得ず触れた場合には消毒はもちろん、出来る範囲でグローブを交換するようにしました。

ただ、手が汗ばむと新しいグローブの着用在困難になるため、二重グローブにして外側のグローブのみを交換していました。

コロナ禍に限った事ではないのですが、ダブルミラーにすると単純に倍の数のデンタルミラーの準備が必要となり、手間もかかります。

今後の課題や問題点も見えた健診でしたが、コロナ禍の早期の収束を願うばかりです。



報 告③

〈京 都〉岩 永 典 人

緊急事態宣言解除後も、各県毎日のようにPCR陽性者が出ており、クラスター集団感染も発生している。街を歩いても皆、マスクをしているし、人の多く集まる店舗などでは体温測定とマスク着用が義務付けられている。

延期されていた学校歯科健診が、8月に入りようやく開始された。日学歯や県学歯のHPで健診時のソーシャルディスタンスの注意点などが示されている。私たち広報委員会でもまとめたものをニュースレターで、学校歯科医会会員の先生方にお知らせをした。

不安を持ちながら私も健診の準備をしていた時、さっそく地域の先生から相談を受けた。診療室の昼休み時間を利用して健診を行っている先生から、昼食後の歯磨きについて、飛沫防止等どうしたらいいかと相談を受けた。県学歯理事に確認したところ、それぞれの学校の生徒数、洗面所の状況が違うので個別対応をお願いしていると。本来であれば父兄の

方にお話しすべきかもしれないが、養護教諭と学校歯科医で協議していただいた。

さて、当の健診であるがマスク・グローブ・ガウン・フェイスシールドを着用し、ダブルミラーで生徒の口腔などに触れないように注意し、私の場合は保健室での健診なので待機生徒は3人にした。皆さんの協力のおかげで危惧された混乱も無くスムーズに終えて安堵した。

ミラーが曇った際には、事前に想定していなかったもので、ついミラーをグローブをした指で拭きそうになった。曇り止めなどを用意したほうがよかったのかもしれない。ペーパーなどで拭いて、グローブ交換すればよいだけのことであったが。健診に要する時間もそれほど変わりなく、かえって記録係にとっては静かで、聴き取りやすかったということだった。

報 告④

〈柳川山門〉安 田 誠

昨年6月に実施した特別支援学校における歯科健診について報告します。

毎年4月に行われている歯科健診でしたが、コロナの状況が思わしくない為、延期になっていました。5月に連絡があり、6月に実施という事で毎年行っている必要器具の確認、生徒数と状況などを教えてもらい、加えてコロナ対策について何か必要な事はないか聞いてこられました。3密を避けることを確認し、当日を迎えました。家で体温を測り熱がないことを確認して学校へ向かい、校舎に入る前には、手指を消毒しました。健診室は教室一部屋すべて使い、十分なスペースが確保されていました。前後の出入り口は全開で、外とつながる窓は2か所半開きの状態でした。生徒には一人ひとり担当の先生が付き添ってあ

るので協力しながら健診を行いました。意思疎通ができる生徒には、静かにするように指導してありました。記録は同伴の衛生士が行うので、ミラーと探針、アルコール消毒をしたライト以外は触ることはありません。口や体など少しでも触れた時は必ず手袋を交換します。健診室には3～4人入室し、間隔をあけ、廊下にも同じように離れて数人待機。その際マスクは、出来ない生徒以外は全員着用しました。

特に問題なく無事に終わりましたが、目に見えるものではない為、一抹の不安は残りました。これから先もこの健診体制は続くと思われるので、何の病気であれ、熱が出ないように日頃の体調管理が大切だと思いました。

新型コロナウイルス感染防止と学校歯科健康診断

広報委員会 理事 白 木 博 繁

本年度は、新型コロナウイルスにより学校では様々な行事の中止や延期が行われました。歯科健康診断の実施に関しても大きな影響があり、福岡県学校歯科医会においても、健康診断の時期や方法について、日学歯の指針等も参考にしながら、8月発行のニュースレターVol.10の特集記事として会員の皆様へお知らせさせていただきました。

4月に入ってから、会員の先生方からの健診に関するご質問もあり、もっと早い段階での報告が出来れば良かったのではないかと反省しております。

各学校におきましても、児童・生徒の人数や設備などで対応が大きく異なっていました。学校での歯みがきを中止している、という話も少なからず耳にしました。その様な中、学校歯科医として子供たちの歯や口の健康、体の健康を守るためどの様な事ができるのか？学校や保護者にどの様に伝えていくべきか？多くの事を考えさせられました。

歯科健康診断における新型コロナウイルス感染防御に関しましては、スタンダードプリコーション（すべての患者の血液、体液、分泌物、嘔吐物、排泄物、創傷皮膚、粘膜は、感染する危険性があるものとして取り扱わなければならない）の徹底に心がけ、事前に学校や保護者との話し合いなどで共通の認識のもと健診を行う事が望まれます。

健診が終わってからも、保護者から「子供が、グローブを交換せずに口を触られた」な

どクレームがあることも考えておくべきです。

学校での給食についても、新型コロナウイルス感染防止のための指導が必要であると思われます。飛沫を飛散させない事を考え、各学校にあった方法を提案していくのも学校歯科医の務めだと思います。

学校歯科医、学校、保護者の相互理解と協力のもと各学校に合った方法を考え、子供たちの健康を守っていく事が重要だと考えます。



公益社団法人 日本小児歯科学会

http://www.jspd.or.jp/contents/common/pdf/download/shokuj_i_e.pdf

令和元年度福岡県学校歯科保健研究大会での 展示コーナーインタビュー

昨年、開催予定だった第25回福岡県学校歯科保健研究大会は諸般の事情により、開催中止となりました。今回、令和元年に行われた第24回福岡県学校歯科保健研究大会の展示コーナーの中から、2つのブースを改めてご紹介したいと思います。

「フッ素入り歯みがき」

ポリグリップなどでお馴染みの、グ
ラクソ・スミスクライン・コンシュー
マー・ヘルスケア・ジャパン株式会社
のコーナーのイチ押しは、知覚過敏症
状ケアハミガキ「シュミテクト」シ
リーズの新製品「シュミテクト バリ
ア&プロテクト」。今まで歯を強くす
るシュミテクトがなかったため、ペー
ストのPHを若干、酸性に近づけて、
よりエナメル質へのフッ素の取り込み
をよくすることで、知覚過敏ケア+む
し歯予防を可能にした製品で、今から
歯質を強化してゆく小・中・高生にお
勧めとのこと。シュミテクトは本
製品を含めて、全部で9種類（歯周病
予防の歯磨剤「カムテクト」は全5種
類）あり、売上げベースでみると、日
本で一番売れている歯磨剤だそうです。
そのほかにも、部分床義歯を装着して
いる患者さん用に、残存歯をしっかり
守りましょうというコンセプトの下に
開発された「ポリデントデンタルラボ
薬用ハミガキ」なども紹介されていま
した。



「福岡県歯科衛生士会コーナー」

令和元年度は大牟田学校歯科医会の
経緯資料の掲示や、大牟田学校歯科
「歯の健康教室」で使用している媒体
の展示が行われました。媒体はすべて
手作りで、アンパンマンのイラストを
使用したり、「どうしてもむしびになる
の」といった類の紙芝居系の平面的な
媒体が豊富で、6才臼歯をテーマにし
たオリジナルの絵本「はのおうじさ
ま」では、想像力を膨らますためか、
文字はほとんど使われていませんでし
た。ちなみにこの絵本のラストでは、
王子様（6才臼歯）の頭が欠けて終わ
るといった衝撃的なバッド・エンドで
幕を閉じます。展示品の中でも印象的
だったのは、メロン大くらいの大きさ
の大白歯1歯分の歯牙模型で、歯科衛
生士の御主人の歯科技工士が作成した
ものだそうです。内部は発泡スチロー
ルで、その上に紙粘土に色を付けて作
成したもので、意外と軽量で、さすが
本職が作っただけあって、とてもリア
ルです。指導用歯ブラシは、100円
ショップで購入した洗車ブラシを転用
して作製しています。このコーナーは
毎年、担当地区が変わるので、今後も
毎回、いろいろな展示が楽しめること
と思います。



令和2年度「歯・口の健康に関する図画・ポスター・標語コンクール」審査結果

図画・ポスターコンクール 幼稚園

会長賞	門 司	幸幼稚園	5歳	高 野	登 功
教育委員会賞	飯 塚	ひまわり幼稚園	6歳	たかはま	あゆか
入 賞	朝 倉	甘木幼稚園	5歳	吉 武	さあや

図画・ポスターコンクール 小学校低学年

会長賞	朝 倉	蜷城小学校	2年	つばき	かな
教育委員会賞	飯 塚	鯉田小学校	1年	やすなが	りょうま
優秀賞	八女筑後	羽大塚小学校	1年	あ べ	なつき
優良賞	柳川山門	南小学校	3年	古 家	花 香
佳作	大 牟 田	手鎌小学校	3年	大 野	こうたろう
佳作	門 司	門司中央小学校	2年	岩 本	彩 芽
佳作	小 倉	曾根小学校	2年	白 石	玲 奈
入 賞	田 川	弓削田小学校	1年	吉 松	大 輝
入 賞	宗 像	河東西小学校	1年	岩 崎	亜 湖
入 賞	浮 羽	福富小学校	3年	内 山	てんま
入 賞	大川三瀧	大川小学校	3年	金 河	英

図画・ポスターコンクール 小学校高学年

会長賞	大 牟 田	手鎌小学校	6年	吉 富	良 幸
教育委員会賞	田 川	弓削田小学校	6年	米 丸	莉 世
優秀賞	浮 羽	千年小学校	6年	重 岡	大 和
優良賞	小 倉	清水小学校	5年	本 田	正 翔
佳作	宗 像	河東西小学校	4年	花 田	美香咲
佳作	大川三瀧	木佐木小学校	5年	柳 環	太
佳作	門 司	門司中央小学校	4年	岩 本	来 海
入 賞	朝 倉	蜷城小学校	6年	荻 野	日 向
入 賞	柳川山門	城内小学校	6年	金 子	諒 美
入 賞	八 幡	高槻小学校	5年	木 本	陽 向

図画・ポスターコンクール 中学生

会長賞	田 川	弓削田中学校	1年	福 田	美南未
教育委員会賞	遠賀中間	水巻中学校	3年	小 黒	琴
優秀賞	大 牟 田	橘中学校	3年	吉 田	あおい
優良賞	八女筑後	輝翔館中等教育学校	3年	中 野	愛 唯
佳作	飯 塚	穂波西中学校	3年	上 野	七 虹
佳作	宗 像	城山中学校	2年	舞 田	奈那子
佳作	朝 倉	甘木中学校	2年	知 覧	夏 妃
入 賞	小郡三井	大原中学校	1年	小 野	あおい
入 賞	小 倉	志徳中学校	1年	松 田	遥 奈

図画・ポスターコンクール 高等学校

会長賞	八女筑後	輝翔館中等教育学校	5年	岩 津	歩 佳
入 賞	小 倉	小倉工業高等学校	2年	原 田	歩 実

図画・ポスターコンクール 特別支援学校

会長賞	小 倉	小倉聴覚特別支援学校	1年	大 元	崇 巨
-----	-----	------------	----	-----	-----

標 語

会長賞	飯 塚	立岩小学校	6年	安 中	美 結
教育委員会賞	若 松	ひびきの小学校	6年	星 野	眺 町
優秀賞	宗 像	河東西小学校	4年	兼 田	圭 奈
優良賞	朝 倉	秋月小学校	3年	の せ	ゆ あ
入 賞	田 川	真木小学校	3年	白 川	璃 愛
入 賞	八女筑後	忠見小学校	5年	川 口	美 桜
入 賞	門 司	東郷中学校	3年	堀 合	俊 平
入 賞	小 倉	横代小学校	6年	尾 形	心 優
入 賞	八 幡	池田小学校	6年	大 塚	明 優



標 語

優良賞

自分の歯
自分で守ろう ハミガキで
朝倉 秋月小学校3年 のせ ゆあ

優秀賞

いつまでも
大きな口開け 笑いたい
宗 像 河東西小学校4年 兼田 圭奈

教育委員会賞

ウイルスを
予防するには 歯みがきで
若松 ひびきの小学校6年 星野 眺町

会長賞

よくかむと
心も体も あたたまる
飯塚 立岩小学校6年
安中 美結

入賞

じょうぶな歯
未来の自分に とどけよう
八幡 池田小学校6年 大塚 明優

入賞

これからも
一緒に生きる 歯と私
小倉 横代小学校6年 尾形 心優

入賞

歯ブラシで
磨いていこう 歯と己
門司 東郷中学校3年 堀合 俊平

入賞

むしば菌
みがき残しを ねらってる
八女筑後 忠見小学校5年 川口 美桜

入賞

歯みがきで
白い歯強い歯 むし歯ゼロ
田川 真木小学校3年 白川 璃愛

令和2年度 歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール総評

福岡県教育センター 産業・情報教育部 情報教育班 指導主事 井上 準一 先生

審査員 略歴

団体名：福岡県教育センター

役職名：指導主事

氏 名：井上 準一

平成5年4月～ 中間市立中間東中学校 勤務
平成7年4月～ 遠賀町立遠賀南中学校 勤務
平成16年4月～ 芦屋町立芦屋中学校 勤務
平成23年4月～ 鞍手町立鞍手北中学校 勤務
平成27年4月～ 鞍手町立鞍手中学校 勤務
平成30年4月～ 福岡県教育センター 勤務

【総 評】

今年度はコロナ禍の影響もあり作品数が少なかったように感じますが、応募された作品を見てみるとのびのびと描く楽しさを感じながら歯と口の健康を考えている作品や丁寧に細部まで描きこみ、ポスターを見た人にどのように伝わるかを意識した作品が多くみられました。

○幼稚園の部

元気いっぱいな表現で、むし歯のないきれいな歯が描かれていました。見てると伝えたいことがあふれ出てくるようです。クレヨンや水彩絵の具など、画材の変化で表現の幅が広がっています。日ごろからいろんな絵を楽しみながら描いていることがわかります。

○小学校低学年の部

大きく開けた口と真っ白な歯がとても印象的な作品がたくさんありました。よく見てみると左手に歯ブラシを持っている作品が目につきます。おそらく毎日の歯磨きの時に鏡に映る自分の姿なのでしょう。歯磨きがきちんと習慣になっているようですね。それぞれの作品が色鮮やかできれいな丈夫な歯を印象付けています。

○小学校高学年の部

それぞれに考えられたキャッチフレーズにあわせて、アイデアを凝らした作品が多く見られました。絵は描く技術も大切なのですが、それ以上に何を感じ取り何を表現するかという、ものの見方や感じ方、発想や構想の仕方が大切になります。それぞれの作品から、どんな思いで描いていたか、色を選ぶときやキャッチフレーズを決めるときに何を考えていたかなどがよく伝わってきました。

○中学生の部

どの作品もとても丁寧に細部にわたってしっかりと描き込まれており、技術の高さが目を引きました。また、ポスターの機能として重要である伝えたい内容を見た人に伝えることを十分に意識して制作に取り組んだことがわかります。アイデアを練り込み、単純化や強調、雰囲気大切に配色の工夫や訴えかける言葉の工夫な

ど、中学生の目線から発想豊かに作品を作り上げ素晴らしいと感じました。

○高等学校の部

出品が少なかったのは残念ですが、作品自体は高校生らしい思考と高い技術をもってテーマを捉え表現しています。特にシンメトリーになっている構図を用いながら、時間の経過を表現しており、歯と口の健康に対するメッセージをしっかりと伝える効果を与えています。また、画面上に描かれている手の表現から画面外の人物が想像され、広がりを感じるものになっているようです。

○特別支援学校の部

歯の健康に関する自分の経験から主題を生み出し、人物を大胆に配置して迫力ある画面に仕上げていることで、その場の情景や緊張感などがとてもよく伝わってきます。また、表情や目の動きで作品を見た人が描かれた人物の気持ちを想像することができます。今回はとても作品数も少なかったのですが、描く楽しさを味わいながら作品作りに取り組んでいただければと思います。

【作品審査を終えて】

今年度はコロナ禍によって臨時休校の期間も長く、学校生活の中でも制限が多くあり、例年とは違う生活を余儀なくされています。その中で出品数こそ少なかったですが、どの作品も描く楽しさを感じさせたり、個性的な表現を迫ったり、見ごたえのある作品が多かったように思います。来年の作品もどのようなものが出品されるのかとても楽しみです。今後のアドバイスとしては、何を一番伝えたいかを掘り下げていくことや伝えるための配色を考えること、描く人物の表現方法（表情やしぐさ）の工夫などです。

最後に、子供たちの自由な発想や工夫を凝らしたアイデアは見えてとてもワクワクしました。まっすぐに思いを伝えようとする表現が作品を見た人たちにしっかりと届いているのではないのでしょうか。今回、この素晴らしい作品群にめぐり合わせていただいたことに感謝いたします。ありがとうございました。

令和2年度
歯・口の健康に関する図画・ポスター・標語コンクール受賞者

会長賞



幼稚園
門司 幸幼稚園 5歳
高野 登功



小学校低学年
朝倉 蛭城小学校2年
つばき かな



小学校高学年
大牟田 手鎌小学校6年 吉富 良幸



中学生
田川 弓削田中学校1年
福田 美南未



高校生
八女筑後 輝翔館中等教育学校5年
岩津 歩佳



特別支援学校
小倉 小倉聴覚特別支援学校1年
大元 崇巨

教育委員会賞



小学校低学年

飯塚 鯉田小学校1年
やすなが りょうま



幼稚園

飯塚 ひまわり幼稚園 6歳
たかはま あゆか



小学校高学年

田川 弓削田小学校6年
米丸 莉世



中学生

遠賀中間 水巻中学校3年
小黒 琴

優秀賞



小学校低学年

八女筑後 羽犬塚小学校1年
あべ なつき



重岡 大和

小学校高学年
浮羽 千年小学校6年



吉田 あおい

中学生
大牟田 橘中学校3年

優良賞



柳川山門 南小学校3年
古家 花香



小 倉 清水小学校5年
本田 正翔



八女筑後 輝翔館中等教育学校3年
中野 愛唯

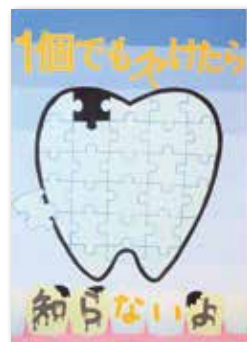
佳作



宗 像 城山中学校2年
舞田 奈那子



朝 倉 甘木中学校2年
知覧 夏妃



飯 塚 穂波西中学校3年
上野 七虹



宗 像 河東西小学校4年
花田 美香咲



門 司 門司中央小学校4年
岩本 来海



大川三瀬 木佐木小学校5年
柳 環太



大牟田 手鎌小学校3年
大野 こうたろう



門 司 門司中央小学校2年
岩本 彩芽



小 倉 曽根小学校2年
白石 玲奈

入 賞



朝 倉 甘木幼稚園 5歳
吉武 さあや



宗 像 河東西小学校1年
岩崎 亜湖



田 川 弓削田小学校1年
吉松 大輝



大川三瀬 大川小学校3年
金 河英



浮 羽 福富小学校3年
内山 てんま



八 幡 高槻小学校5年
木本 陽向



柳川山門 城内小学校6年
金子 諒美



朝 倉 蜷城小学校6年
荻野 日向



小郡三井 大原中学校1年
小野 あおい



小 倉 志徳中学校1年
松田 遥奈



小 倉 小倉工業高等学校2年
原田 歩実

田川学校歯科医会 令和2年度活動報告

〈田川〉 菅 義 浩

令和2年度の田川学校歯科医会では他の加盟団体同様、新型コロナウイルスの影響を大きく受けた1年となりました。

10月開催予定であった田川地区学校歯科保健研修会は、役員会にて協議の末、中止と致しました。本年度は福岡県学校歯科医会から柳迫正俊専務理事を講師としてお迎えする運びでしたので非常に残念な結果となりました。

また、福岡県立大学のご協力の元、田川歯科医師会と合同で11月の学園祭（秋興祭）時に行ってきた「歯・口の健康に関する図画・ポスター及び標語」の優秀作品の展示、並びに、受賞者の表彰式も学園祭の中止、及び講堂等の学内施設の貸し出し中止により断念致しました。今年度、田川では図画・ポスター、標語共に、9月末まで締め切りを延長しました。休校、短縮授業、夏休み短縮と児童・生徒も厳しい日程の中、たくさんの作品を提出いただき感謝です。表彰式は中止となりましたが、例年通り、優秀作品は西日本シティ銀行 東田川支店にて展示されることとなりホッとしました。

このように大きな行事は中止が相次ぎましたが、逆に、今しかできない小さなことから見直そう、という観点から、延期されていた学校歯科健診における感染予防の徹底に力を入れました。学校関係者や児童・生徒、保護

者の不安もある現在、県学歯からのガイドラインをもとに例年以上に各学校歯科医に学校、養護教諭等との協議を密に行ってもらようお願いしました。また、グローブ、フェイスガード、ガウンなどはもちろん、手指消毒方法、衝立アクリル板の配置、生徒同士の距離、会場での待機方法など各学校歯科医が出来る最大限の工夫により歯科健診を再開致しました。

田川市郡では人口減、生徒数減による小・中学校の統廃合がここ数年活発に協議、実施されています。本年度より川崎町の中学校が3校から1校に、来年度には香春町の小・中学校6校が1校に統合されます。田川市、添田町など数年後に統合予定、統合計画を控えた自治体もあり、今後もさらなる統廃合が加速していきます。田川学校歯科医会では、医師会、薬剤師会とスクラムを組み、学校歯科医、そして何より児童・生徒が不利益を被らないため自治体、教育委員会等との協議を続けています。

新しい日常を模索している現在、歯科保健教育の観点からも学校、学校歯科医間での情報共有をより強化する必要があり、学校保健関係者を介した地域社会との連携をさらに密にしていかなければならない、と考えています。

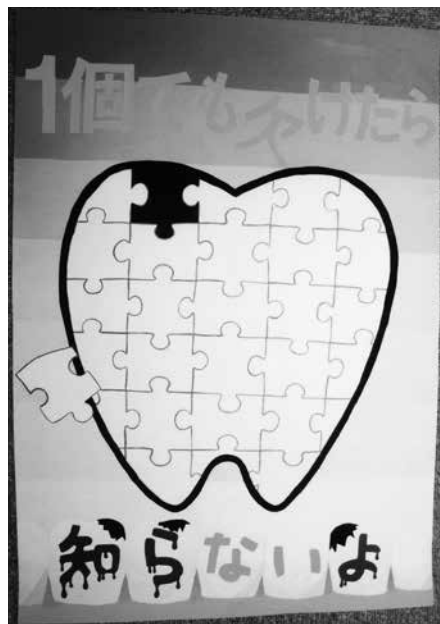
「図画・ポスター・標語」審査会

〈飯塚〉後 藤 英 伸

令和2年9月28日、飯塚歯科医師会館において令和2年度の「歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール」及び「歯・口の健康啓発標語コンクール」の審査会が行われた。

今年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で年度始めに多くの学校が休校になり、例年通りの作品募集はできなくなった。対応策として募集の締め切りが延期されたものの学校の授業時間の関係で、応募作品数が例年より少なくなるのではないかと大変危惧された。しかしふたを開けてみれば杞憂であった。今年度は図画・ポスターが幼稚園4園、小学校9校、中学校7校から合わせて469点、標語が小学校4校から50点の応募があり、特に小学校低学年の図画は過去最高ともいえる応募数であった。なお、審査は例年、飯塚市教育委員会の先生にお願いしていたが、今年度は状況に配慮して本会の役員が行った。

図画・ポスターの応募作品はいずれものびのびとしており、個性豊かで色使いにも優れた力作ぞろいだった。とりわけ中学生のポスター作品は思わず見入ってしまうようなハイレベルな芸術品のオンパレード。選ぶことを忘れて作品の鑑賞会となってしまった。また



中学校の部：会長賞作品

標語作品もリズム感にあふれる楽しい秀作ばかりで、役員も感心しきり。入賞作は甲乙つけがたいものも多かったので、悩みながら時間をかけてじっくりと各部門で会長賞、天賞、地賞、人賞、佳作を選ばせていただいた。

ところで例年なら入賞者の表彰式を行い、入賞作品を飯塚信用金庫本町本店に展示するという流れだったのだが、今年度はやはり見送りにせざるを得なかった。



「図画」の審査風景



「標語」の審査をする役員

フッ化物洗口事業

〈粕屋〉高 橋 眞 一

今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響から、我が粕屋歯科医師会の学校歯科関連の主要な事業である「むし歯予防図画・ポスター審査会」（8月1日開催予定）や、例年11月に開催している粕屋地区の公立の小・中、特別支援学校の養護教諭との「合同研修会」などが概ね中止や延期となり、毎年2月常会後に予定されている粕屋地区の来年度の校医選定のための「校医研修会」も例年通り歯科健診の留意点等の研修会の後、外来講師をお招きしご講演いただくといったような形式とは違った形で開催する運びとなりそうで、内容的には、とても寂しい粕屋歯科医師会の「郡市区だより」となってしまうそうです。

そんな中、平成28年度の福岡県歯科医師会の学童期むし歯予防推進事業をうけて活動している「フッ化物洗口事業」は、あらかじめ学校薬剤師にフッ化物洗口液を調剤していただき、それを各学校に配達をしてもらい学校にて分注しフッ化物洗口を行う「粕屋方式」

といった形式を立ち上げ、公立小学校5校を皮切りに、平成29年度にはモデル校としてさらに1校、平成30年からはさらにもう1校が加わり合計7校で粕屋地区1市7町のうち1市5町にまたがって行われております。

当事業も開始から4年が経過し、そろそろフッ化物洗口の効果の統計を取る形で各学校・校医の先生方のご協力のもと検証を行っていかうとしていた矢先に新型コロナウイルス感染拡大の影響で飛沫の問題等によりフッ化物洗口事業も一時中断や様式の変更を余儀なくされてしまいましたが、現在は4校が再開しているという段階にまできており、今後は感染対策を徹底し継続していければと考えております。

また、今年度より新しく開催を希望する町もあり、現在はまだ新型コロナウイルスの影響で見送られてはおりますが、今後の展開がこのコロナ禍における不安なニュースが多くある中、明るい材料といえるのではないのでしょうか。



久保山 博子 先生



馬場 篤子 先生

糸島歯科医師会学校歯科委員会の活動

〈糸島〉石 井 香

歯科の二大疾患である、むし歯は近年、減少傾向にある一方、歯周病は、小児期から徐々に増加してきていますが、いずれの疾患もかなりの部分で予防可能であり、健診、医療環境の整備により今後さらに減少させていくことができると考えられます。しかし歯科疾患は、むし歯と歯周病だけではなく、歯並びやかみ合わせ、歯や口腔軟組織、さらに口腔機能の異常にも対応することが求められています。我々、学校歯科医が関わっている学童期から青年期にかけては、乳歯列から永久歯列へと口腔内も大きな変化をしており、顎顔面も成長・発達を続けています。高齢社会を迎えた現在、生涯にわたって歯と口腔の健康を保持していくためには、小児期からの歯科健康診断による歯科疾患の早期発見、治療勧告による重症化防止は非常に重要です。また最近の研究では、歯と口腔の健康が全身の健康にも大きく寄与していることも分かってきており、小児期の歯科医療や保健の重要性が再認識されつつあります。この時期の学校歯科医のかかわりも重要になってきているように思います。



小学校の歯科健康診断
(ソーシャルディスタンスを守って)



小学校の歯科健康診断
フェイスシールド、グローブオングローブ
(脱着がしやすいように)

このような状況を踏まえ、現在、糸島歯科医師会では学校歯科医委員会の6人を中心に全会員の協力を得て学校歯科の活動を行っております。今年は新型コロナウイルスの影響で学校歯科活動に大きな影響を受けました。学校の歯科健康診断は実施時期の延期に加え、感染防止のため実施方法の見直しなど現場サイドの工夫が必要となりました。また、例年11月の「いいな、いい歯。」週間に行っておりました小学校を訪問しての啓発教育、ブラッシング指導は、飛沫感染が防げないという理由でやむなく中止いたしました。子供たちへのインパクトが大きくとても好評だっただけに残念です。委員会ではこれに代わる媒体（DVDなど）を利用した啓発活動ができないか、試行錯誤しながら現在準備している状況です。この様な、今年の貴重な体験は無駄にせず将来に繋げられるようにと思っております。最後に、この状況が今年1年で収束することを心より願っております。

小郡三井歯科医師会における学校歯科保健活動について

〈小郡三井〉金 澤 憲 孝

当会では毎年、学校歯科保健に関する普及啓発、また児童・生徒の歯科保健に対する意識の向上を目的として地域の小学校3年生、6年生を対象とし、「歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール」を行っている。



昨年度の小郡市における展示会場

昨年度の報告となるが、5月24日（金）午後7時30分から「小郡市総合保健福祉センターあすてらす」で一ノ宮佳邦画伯のもと、約2時間かけ審査会を行った。画伯はもともと色使いや色の重ね、線や面で織りなす形に非常に定評のある現代美術家。過去の個展のコメントでも“色で人間はうそをつけない”と述べていたが、小学校3、6年生、特別支援学校のそれぞれから特選に選ばれた3作品に対する寸評も、「色の取り合わせや構図が上手く柔らかい色調。飾ってみたい」、「かなり完成度が高いが、1点だけ言えばもう少し色を出していたら」、「落書きのように形を作る面白さ、色も濁りが無い」など、特に色や重なりに着眼点を置いて審査され、その姿は絵の向こうに居る児童を見据えているかのようであった。

審査後は例年一般の方にも向けて展示されるが、昨年度は6月1日（土）からの15日間、「小郡市総合保健福祉センターあすてらす」と「大刀洗ドリームセンター」の2カ所で展示され、両会場とも人通りが多くあり、足を止めポスターを鑑賞する姿が目についた。

さて今年度であるが、新型コロナウイルスの影響により多くの行事も中止を余儀なくされる中、各学校現場においても臨時休校や再開の延期、分散登校など混乱している状況に加え、学習時間もか

なりマイナスとなっていると聞き、ポスターコンクールをいかにするか様々な意見が出たが、検討の末、中止の運びとなった。今年の3、6年生にとっては歯科保健というものを考える場が1つ減ってしまったが、この先何らかの形で歯科保健教育の時間を取り戻す事も検討していかなければならないだろう。



昨年度の大刀洗町における展示会場

また今年度から当会の備品として、高齢者の「口腔機能低下症」診査に用いられる種々器具に加え、小児期の「口腔機能発達不全症」の診断に用いられる器具も導入し、当会でのイベントだけではなく、地域施設への貸し出しにも応じられるような体制を作った。こちら残念ながら新型コロナの影響でまだ活躍の場は無いが、地域の児童・生徒、保護者、学校関係者等の歯科保健に対する意識の向上、健全な成長のサポートに繋がればと願う。



昨年度の特選の3作品
(左から小林副会長、一ノ宮画伯、牛嶋会長)

令和2年度 図画・ポスターコンクール

〈浮羽〉樋 口 太 郎

当会では毎年、「歯・口の健康に関する歯科保健図画・ポスターコンクール」を開催しています。浮羽歯科医師会は、うきは市と久留米市田主丸町を管轄しています。現在うきは市に小学校7校、久留米市田主丸町に小学校7校があります。1～3年生は図画、4～6年生は標語の入ったポスターで各小学校より応募がありました。例年、元美術科教諭を審査委員長としてお招きし、会員全員で全図画・ポスターを審査していました。しかし、今年度は新型コロナウイルス感染防止の観点から担当委員会において図画・ポスターの第一次選抜を行い、最終審査のみ会員全員で入賞作品（歯科医師会会長賞など）を選出しました。そして例年なら入賞した作品は浮羽町

のショッピングセンターや西日本シティ銀行吉井支店に展示させて頂いていましたが、今年度はそれも叶いませんでした。入賞した児童たちからすると多くの市民の目に留まる機会がなかったことは少し残念だったかもしれません。

毎年、児童たちが一生懸命描いた図画・ポスターを審査していると思うことがあります。その図画・ポスターを描くときには歯を保つことの大事さを考えながら描いていると思います。それを毎年続けることで子供たちの意識の片隅に歯を保つことの大切さが認識されていくのではないかと思います。継続することが非常に大切で今後の子供たちにプラスになるのではないかと信じています。



審査の様子



ポスター展示作業



入賞作品の決定

久留米学校歯科医会

〈久留米〉古賀浩明

久留米学校歯科医会は現在56名の会員により、小学校・中学校・高等学校の児童・生徒に対して、健診や歯みがき指導を行っております。

久留米市の委託事業として定着した小学2年生に対する歯みがき指導に加え、小学校高学年（5年生）に対する指導も以前から希望校に対して行ってきましたが、ここ数年で僅かずつではありますが増加して、現在（昨年）では34校中の24校で実施するに至っております。

保護者の仕上げ磨きから離れ、自分で磨くようになる時期にしっかりと歯みがきの習慣とテクニックを身に付ける事が重要だと考え、今後もしっかりとした指導を衛生士会の皆さんの協力のもと続けていきます。



年に一度の「歯の健康フェスタ」に於けるポスター展については、これまで久留米歯科医師会の公衆衛生委員会がそのほとんどを担っていましたが、2年程前より学校歯科医会もその選考から展示に至るまで積極的に参画する事となり、より充実したものとなっています。

近年に於ける当会の最大の慶事と言えば、平成30年度の秋の叙勲に於きまして、故・倉田誠一先生が瑞宝双光章を受章された事です。長年に亘るその功績を評価されての受賞は、会員一同の誇りであり目標となるべき誠に喜ばしい事でした。

本年度に入って発生した新型コロナウイルス問題に対して、全ての先生が診療はもちろん、学校歯科の活動においても大変なご苦労をされていらっしゃると思います。

当会でも、養護の先生と緊密に連絡をとりながら周到な準備のもと、特にこれといった問題もなく無事に健診を完了する事が出来ました。

残念ながら、健診以外の歯みがき指導やイベントにつきましては、そのほとんどが中止又は延期となってしまいましたが、今後も児童・生徒のお口の健康、ひいては全身の健康増進のため、会員一同頑張っていきたいと思っています。



フッ化物洗口事業スタート（大川市）

〈大川三瀨〉石 川 毅 彦

当会は例年6月に小学生対象の「歯・口の健康に関する図画・ポスター展」を開催しています。

大川市、三瀨郡大木町、久留米市三瀨町、城島町の19小学校より3,400余名の児童が出品し、三瀨町在住の池末満画伯の審査にて、入選者84名を選考。低学年、高学年より各1作品を県学歯へ提出しています。

入選作品は6月上旬より2週間、大川市文化センターロビーに展示しています。その期間中に受賞児童とその保護者を招き、2市1町の首長、教育長、学校保健会会長御臨席のもと表彰式式典を厳粛に開催しています。池末画伯による個別の講評が参加者にとっても喜ばれています。

今年度は新型コロナウイルス感染が影響し、13校の提出にとどまりました。審査会は行ったものの、作品展示、表彰式は残念ながら中止となりました。

さて、もう一方で喜ばしい事業の報告もあります。令和3年1月より大川市内の小学校全8校において、フッ化物洗口事業が開始されます。市町村単位で一斉に行われるのは、県下初のことです。当会堤清之会長が5年前より、熱心に根気強く市長、教育長へ働きか

け、「口の健康の大切さ」の理解を行政関係者へ広めた貢献はとても素晴らしいと思います。

平成25年3月に制定された「歯科口腔保健の推進に関する条例」をベースとする、科学的根拠に基づいたむし歯予防施策の実施として、各自治体がフッ化物利用を検討されていると思います。フッ化物洗口事業もこの条例がなければ、実現していなかったはずです。歯科保健条例の制定に多大なご尽力をいただいた、当時福岡県歯科医師会理事の今里憲弘先生（大川市開業）に深く敬意を表します。

大川市の子供たち（小学生）のう蝕罹患率は令和元年現在で35.3%、県平均26%よりかなり高めです。数年後、この事業の効果が実証されなければ、この事業は広がりません。

「歯質強化」と共に「口腔衛生習慣」「食育」も同時に進める必要があります。

学校歯科医には、児童・生徒、教職員、保護者への積極的な働きかけが期待されます。三位一体の取り組みを推進していけるよう、学校歯科医間の連携（意見交換）も重要になりそうです。今後の大川市の学校歯科保健活動にご注目下さい。



池末画伯による個人講評（昨年度分）



倉重大川市長による表彰（昨年度分）

令和2年度の学校歯科保健活動について

〈門司〉加 塩 大 輔

門司歯科医師会では、例年であれば、5月末まで「歯・口の健康に関する図画・ポスター」「歯・口の健康啓発標語」の募集を行い、画家の先生をお招きして歯科医師会館にて審査を行って県学歯への推薦を決めていました。

それから、集まった作品に関しては、近くの商店街や、ホールに展示して広く区民の皆さんに見て頂いていました。



また、1学期に小・中学校の歯科健診を行うため、その健診結果を踏まえて各学校から「良い歯の学童」を推薦してもらい、門司歯科医師会館にて、6月末頃に児童生徒・先生参加のもと「良い歯の学童」の表彰、記念品の贈呈式を行っていました。

さらに、夏休み前の7月には、門司区の小・中学校の校長・養護教諭を対象に、外部の講師の先生にお願いし、今学校の先生方が「聞きたい、知りたい」児童の口の問題についての研修会を開いていました。

さらに、11月には福岡県学校保健研究大会への参加などと保健活動は続いていました。

しかし、令和2年度は新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けて、全てのスケジュールが変更となりました。

「歯・口の健康に関する図画・ポスター」「歯・口の健康啓発標語」の募集を7月末までと延期しましたが、集まった総数は例年の十分の一程度にとどまりました。



さらに審査も、画家の先生にはお願いせず学校保健の委員で行いました。

「良い歯の学童表彰」は、学校歯科健診が1学期に行われなかったため延期となり、各学校からの推薦は12月末まで受け付けることとし、表彰式中止し、記念品の送付のみで行うこととなりました。

校長・養護教諭との研修会は、多くの先生に集まっていたで行うため、今年の実況での開催は難しいとの判断で、中止となりました。

11月の福岡県学校保健研究大会も中止となり、例年通りの学校保健活動はほぼ実施出来ない年となりました。

令和3年度には、世の中も落ち着き、いつも通りの学校保健活動が戻ることを期待します。



コロナ禍の学校歯科活動について

〈遠賀中間〉 森 敏 夫

コロナの感染拡大により、私たちの日常生活は大きな影響を受け生活様式は様変わりする事になった。密閉、密集、密接で表す、いわゆる3密状態をさけ、何か行動をするたびに、手洗いとうがいをする事が奨励される。日本では感染拡大を予防し、自らを守るためにもマスク着用は必須のものとされており、スーパーマーケットなどの入店時にはマスク着用及びアルコール消毒が要求されるありさまである。歯科医院においても同様であり、空気清浄機、イオンやオゾンの発生機、口腔外バキュームなどを備え患者さんに安心して治療をうけていただく環境づくりが急務である。

歯科界全体がこのような状況であるため、当然学校歯科関係の事業も大きく影響を受け各場面で支障をきたしている。

例年、行われている「児童・生徒のよい歯の表彰」は1市4町（中間市、遠賀町、岡垣町、芦屋町、水巻町）での健診時期がばらばらなため中止せざるをえなかった。

「歯と口の健康に関する図画・ポスター・健康啓発標語」は図画・ポスターで6作品の応募があり、いずれも甲乙つけがたい素晴ら



今年度「歯と口の健康に関する図画・ポスター」
応募作品2点

しい作品であった。

当会で在宅歯科衛生士の協力のもと岡垣町の小学5年生を対象に長年にわたって行われてきた「歯肉炎予防・改善事業」および小学校、中学校、特別支援学校での歯科保健指導は、コロナ感染のリスクを避けるため今回は中止となった。

コロナ禍の下でも、学校歯科健診は行わざるを得ない。当会では事前に1市4町の教育長あてに、コロナ感染のリスクを回避するためにダブルミラー法を採用する事、そのためにミラーとゴム手袋を十分用意していただくように申し入れた。その際、県学歯作成の「学校歯科健康診断について」のマニュアルを参考資料として送付した。



ダブルミラーによる歯科健診

歯科健診現場では診療室同様、生徒と歯科医師自らそしてスタッフを守るために、マスク、フェイスガード、手袋、必要に応じて防護服をまとして健診に取り掛からねばならない。

コロナ禍がいつ終息するかわからない状況下で学校及び歯科関係者はどの様に対処していくか模索が続いていく。

表彰おめでとうございます

◎秋の叙勲 ◇瑞宝双光章

期日 令和2年11月26日(木)



原 田 一 男
(大川三潞)

◎文部科学大臣表彰

期日 令和2年10月13日(火)



川 野 未禧朗
(大牟田)

◎福岡県教育文化表彰

期日 令和2年11月23日(月)
場所 アクロス福岡イベントホール



辻 利 貞
(八幡)

◎福岡県学校保健功労者

期 日 令和2年11月25日(水)



増田 憲 治
(京 都)



片 岡 良 司
(京 都)



秋 山 伸 一
(京 都)



吉 永 隆 一
(京 都)



栗 原 保 方
(直 方)



猪 俣 卓 也
(飯 塚)



野 田 孝 則
(宗 像)



鶴 田 勝 久
(宗 像)



林 英 明
(宗 像)



吉 田 祐 司
(宗 像)



根 木 一
(筑 紫)



福 原 稔
(筑 紫)



酒 井 龍 磨
(筑 紫)



佐 藤 敬 一 郎
(浮 羽)



白 杵 源 久
(浮 羽)



山 下 尚 之
(久 留 米)



吉 田 龍 生
(柳 川 山 門)



古 賀 哲 男
(柳 川 山 門)



平 河 孝 憲
(柳 川 山 門)



古 澤 一 彦
(柳 川 山 門)



松 本 陽 一
(柳 川 山 門)



白 本 光 鶴
(大 牟 田)



下 村 英 二
(大 牟 田)



大 田 実
(小 倉)



三 浦 彰
(小 倉)



曾 我 富 美 雄
(小 倉)



竹 内 敏 洋
(戸 畑)



蛭 木 健
(八 幡)



三 宅 正 輝
(遠 賀 中 間)

会務報告

各種会議・会員現況報告

令和元年度

12月7日 第3回統計調査委員会

14日 第6回理事会

21日 第5回学術委員会

21日 第3回普及指導委員会

21日 第4回統計調査委員会

21日 第5回広報委員会

1月11日 第5回常務理事会

11日 第5回統計調査委員会

11日 第2回定時監査会

18日 第4回普及指導委員会

25日 第7回理事会

2月1日 第6回学術委員会

1日 第6回統計調査委員会

8日 第6回常務理事会

22日 第8回理事会

22日 令和元年度臨時総会（第112回）

正副議長打合せ会

29日 第4回広報小委員会

3月7日 第9回理事会

14日 令和元年度臨時総会（第112回）

令和2年度

4月11日 第1回常務理事会

5月14日 令和2年度臨時総会（第113回）

正副議長打合せ会

22日 令和2年度定時総会（第113回）

正副議長打合せ会

16日 第2回常務理事会

16日 第1回定時監査会

23日 第1回理事会

30日 第1回統計調査委員会

30日 第1回広報小委員会

6月6日 第1回学術委員会

13日 令和2年度定時総会（第113回）

20日 第2回理事会

27日 第1回普及指導委員会

7月4日 第2回学術委員会

11日 第3回常務理事会

18日 第3回理事会

25日 第1回広報委員会

9月12日 第4回理事会

26日 第2回普及指導委員会

26日 第2回広報小委員会

10月10日 第3回学術委員会

17日 第5回理事会

24日 第3回普及指導委員会

24日 第2回広報委員会

11月7日 第4回常務理事会

7日 第3回広報小委員会

21日 第6回理事会

28日 第3回広報委員会

28日 第1回デジタル化推進委員会

会員現況報告（令和2年12月1日現在）

加盟団体名	会員数	加盟団体名	会員数
京 都	42名	久 留 米	56名
豊 前 築 上	12	八 女 筑 後	55
田 川	39	大 川 三 藩	23
直 方	40	柳 川 山 門	28
飯 塚	62	大 牟 田	44
宗 像	61	門 司	29
粕 屋	25	小 倉	33
糸 島	6	戸 畑	5
筑 紫	84	若 松	4
朝 倉	24	八 幡	23
小 郡 三 井	25	遠 賀 中 間	38
浮 羽	18	合 計	776

東地区195名、西地区176名、南地区273名、北地区132名

学校での給食後の歯みがきについて

福岡県学校歯科医会としましては、給食後の歯みがきは推奨いたしております。

しかしながら、新型コロナウイルス感染防止を観点に、各学校における手洗い場の設置状況等により、学校側と協議の上、適切に実施していただくことが望ましいと考えます。

- ・学年別（年齢）に配慮する。
- ・教室で行う際は十分換気に注意する。
- ・歯みがきを行う際は私語をせずに、ソーシャルディスタンスに気を配り、向かい合わせにならないように行う。
- ・歯みがきの最中はなるべく口を結んで行う。
- ・歯みがき後のすすぎは、少ない水で、ガラガラうがいではなくブクブクうがいで行う。
- ・すすぎの回数は1回～2回にとどめる。
- ・洗口場が混まないように工夫する。
- ・歯ブラシの管理（消毒等）に注意する。



日本学校歯科医会のホームページでもポスターがダウンロードできます。ご活用下さい。



◎公 告

○令和2年度 臨時総会（第114回）

日 時 令和3年3月13日（土）午後3時00分

場 所 福岡県歯科医師会館 5階 大ホール

物 故 会 員

自 令和2年10月25日 至 令和2年12月19日

ご冥福をお祈り致します

井 上 文 弘 69才（朝 倉）

◎予 告

「学校歯科医生涯研修制度」基礎研修・更新研修

日 時 令和3年2月6日（土）

基礎研修：午後2時00分～午後5時10分（受付 午後1時30分～）

（併催 学校歯科医新任研修会）

更新研修：午後5時15分～午後6時40分（受付 午後5時00分～）

場 所 福岡県歯科医師会館5階 視聴覚教室

※更新研修は東地区・北地区の先生方を対象

（更新研修は日本学校歯科医会会員で、平成24年度までに基礎研修を受講されている先生方）。

※本年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、参加人数を制限させていただきますので、ご協力の程よろしくお願いいたします。

編 集 後 記

新年あけましておめでとうございます。昨年はコロナ騒動で、あっという間の1年だった様に感じます。

ちょうど1月に武漢に渡航した国内初のコロナ感染者を確認。すぐに政府は武漢に在留している日本人をチャーター機で帰国させる。クルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス号」で感染確認。感染経路が追えない感染者が多数確認され、国内感染の拡大が心配された。2月には国内初の感染者死亡者がでる。学校は3月2日から春休みまで、ほぼ一斉臨時休校となった。日本への入国拒否の地域、国が拡大され、オリンピック開催の延期が発表された。4月に入ると政府は7都道府県に1ヶ月間の「緊急事態宣言」を発表するも、16日には対象地域を全都道府県に拡大し、5月31日まで延長した。4月に国内死者100人程度だったが、5月には500人を超え月末には800人を超えた。

ピークも過ぎ、7月には「Go To トラベル」キャンペーンを始めたものの8、11月に死者数が増加した。「Go To イート」「Go To イベント」などの景気対策がどのように影響してくるのか心配である。安全なワクチンができるまでは「新しい生活様式」を徹底したいものである。

広報委員会 委員 安田 誠



門司港駅

県学歯会報

第 94 号

毎年1回発行

発行人 杉原 瑛治

発行所 〒810-0041 福岡市中央区大名1丁目12-43
一般社団法人 福岡県学校歯科医会
TEL 092-714-4627 FAX 092-714-7599
E-mail k-gakusi@alpha.ocn.ne.jp
U R L <http://www.fk-gakusi.jp>

印刷所 〒812-0065 福岡市東区二又瀬新町12-29
株大里印刷センター
TEL 092-611-3118 FAX 092-629-2715